

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●太宰啓介騎手がJRA通算1万回騎乗を達成

1月13日(土)の1回京都4日・第11レースの淀短距離Sでオウノミチに騎乗した太宰啓介騎手(栗東・フリー)は、この騎乗で史上33人目、現役では21人目となるJRA通算1万回騎乗を達成しました。

### ●キタサンブラック、コパノリッキーらの競走馬登録抹消

2017年天皇賞(GI)の春秋連覇、2017年有馬記念(GI)など、1984年のグレード制導入以降、史上1位タイとなるJRA・GI 7勝をあげたキタサンブラック(牡6歳/栗東・清水久詞厩舎/JRA通算20戦12勝)、2016年エリザベス女王杯(GI)などの勝ち馬クイーンズリング(牝6歳/栗東・吉村圭司厩舎/JRA通算18戦6勝・海外1戦0勝)、2014年・2015年にフェブラリーS(GI)とJBCクラシック(JpnI)を連覇するなど統一ダートGIで歴代最多の11勝をあげたコパノリッキー(牡8歳/栗東・村山明厩舎/JRA通算16戦6勝・地方17戦10勝)、2017年安田記念(GI)などの勝ち馬サトノアラジン(牡7歳/栗東・池江泰寿厩舎/JRA通算26戦8勝・海外3戦0勝)、2014年JBCスプリント(盛岡・JpnI)などの勝ち馬ドリームバレンチノ(牡11歳/栗東・加用正厩舎/JRA通算33戦9勝・地方22戦3勝)は、1月10日(水)までに競走馬登録を抹消されました。キタサンブラックとサトノアラジンは北海道安平町の社台スタリオンステーション、コパノリッキーは北海道日高町のブリーダーズ・スタリオン・ステーション、ドリームバレンチノは北海道新ひだか町のアロースタッドで種牡馬となり、クイーンズリングは北海道千歳市の社台ファームで繁殖馬となる予定です。

### ●全日本新人王争覇戦にJRAから2騎手が参加

1月23日(火)に高知競馬場で行われる「第32回全日本新人王争覇戦」に、JRAからは木幡巧也騎手(美浦・牧光二厩舎)と坂井瑠星騎手(栗東・矢作芳人厩舎)が参加することとなりました。このレースは初免許取得後3年以内の騎手のうち、騎乗技術等において模範となる騎手が招待されるものです。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●年度代表馬はヒガシウィルウィン(船橋)、NARグランプリ2017

NARグランプリ2017の年度代表馬は、3歳最優秀牡馬も同時受賞のヒガシウィルウィン(船橋)、2歳最優秀牡馬はハセノパイロ(船橋)、4歳以上最優秀牡馬と最優秀短距離馬はブルドッグボス(浦和)、4歳以上最優秀牝馬はララベル(大井)、ダートグレード競走特別賞馬にはコパノリッキー(JRA)が選ばれました。また、最優秀勝利回数調教師賞は角田輝也調教師(愛知)、最優秀賞金取得調教師賞は小久保智調教師(浦和)、最優秀勝利回数騎手賞は下原理騎手(兵庫)、最優秀賞金取得騎手賞は森森斗騎手(船橋)が受賞しています。

### ●サムライドライブ(愛知)が無傷の5連勝【各地の主要3歳重賞】

東海地区デビュー馬限定の新設重賞、湾岸ニュースターC(1月1日、名古屋、1600m)は、逃げたゴールドウィング賞の優勝馬サムライドライブ(牝、父シニスターミニスター)が後続を6馬身引き離し、単勝1.1倍の支持に応じてデビュー以来の連勝を5に伸ばしました。金杯(1月2日、水沢、1600m)は、出遅れから4番手に取り付いた単勝1.3倍で圧倒的人気のチャイヤブーン(牡、父フェダラリスト)が直線に入って間もなく抜け出し、寒菊賞に続く重賞2連勝を達成しています。

### ●プリンシアコメータが有力、1月24日のTCK女王盃(大井)

TCK女王盃(JpnIII、1月24日、大井、1800m)は、プリンシアコメータが中心、JBCレディスクラシックでそのプリンシアコメータを破ったララベル(大井)が続き、以下タガノヴェローナ、オールポッシブル、ブランシェクル、ラインハート(大井)、ミッシングリンクまでが争覇圏内と考えられます。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●2017年の欧州競馬〜ガリレオが英愛で9度目の首位種牡馬

2017年の英愛チャンピオンサイヤーの座にはガリレオ(20歳、父サドラーズウェルズ)が就きました。ハイランドリール(イギリスではG1プリンスオブウェルズSとG1コロネーションCに優勝)などが活躍し、8年連続9度目の戴冠となりました。取得賞金は1193万1301ポンド(約18億1000万円)。5月6日(英2000ギニー当日)から10月21日(英チャンピオンズデー)の期間で争われた英国の騎手は、ブラジル出身のS. デソウサ騎手(37歳)が155勝をあげて2年ぶり2度目のチャンピオン。1月1日から12月31日を集計期間とする同調教師は、アイルランドを拠点とするA. オブライエン調教師(48歳)が取得賞金833万5028ポンド(約12億7000万円)で2年連続6度目の首位です。フランスのチャンピオンサイヤーはナサニエル(10歳、父ガリレオ)。産駒のエネイブルが1着賞金285万7000ポンドのG1凱旋門賞に優勝。取得賞金は318万4090ポンド(約4億3000万円)でした。騎手は、ベルギー出身のC. スミヨン騎手(36歳)が2年ぶり9度目の栄冠。306勝をあげて、フランス及び欧州の平地年間最多勝記録を樹立しました。調教師は、取得賞金745万8035ポンド(約10億1000万円)でA. ファーブル調教師(72歳)が2年ぶり28度目のチャンピオンです。